

地域も通学路もきれいにしよう！カラフルガードレール大作戦！

湖南省	活動名：石部小地域学校協働本部	石部小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：150人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

本校は、「思いやり」と「自ら正しく判断し行動できる力」を育成することを目標において、学校と地域と家庭が協働し、活動を展開している。学校運営協議会の校外活動支援委員会では、通学路における危険箇所を調査し、子どもたち自身が通学路の危険箇所を知り、災害時に適切な回避行動を取ることができるような活動を協議した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・通学路危険箇所の共有
PTAからでた危険箇所を学校運営協議会と共有し、地域で対応できる箇所などは協議した。
- ・用水路危険のオリジナル看板の点検
設置した20箇所全て、看板が外れていないか点検した。
- ・通学路の一旦停止線に貼った「とまってシート」の点検
劣化した「とまってシート」を貼り直した。
- ・カラフルガードレール大作戦
子どもたちが通学路のさびたガードレールや柵を通るみんなが元気がでるような色に塗り替えた。
- ・スクールガード研修会
「地域で子どもを守る」をテーマとし、甲賀警察署（石部交番）の方を講師に迎え、研修会を開催した。



【カラフルガードレール大作戦！】

■ 実施に当たっての工夫

カラフルガードレール大作戦では、子どもたちがスムーズにペンキ塗りができるように、前週に地域ボランティアと協働してサビ取り作業を行った。色の配色や役割などは事前に打ち合わせを行った。点検し劣化した部分は区長が早急に対応していただき、柵の安全も確保できた。

■ 事業の成果

子どもたちと地域の方が一緒に活動することにより、コミュニケーションの輪が広がった。
スクールガード研修会では、石部交番の方に依頼したことにより、通学路の危険箇所を写真で説明していただき、PTA、地域と共有できた。意見交換では4グループに分かれ、子どもたちの安全についてたくさんの意見を集約することができた。



【スクールガード研修会】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

スクールガード研修会の中で、地域と協働のできることの課題がいくつか出たことにより、今後の活動に取り込んでいきたい。そして、たくさんの地域ボランティアの協力が得られるように活動を発信していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

間伐材を使って学校に必要なものを考えて作ろう！ 子どもたちの自主性の育成をめざして～

湖南省	活動名：石部南小学校地域学校協働本部	石部南小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：175人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（児童会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

「子どもと地域がひびきあう」をキャッチフレーズとし、「ふるさと意識の醸成」「子どもたちの自主性の育成」の取組の一環として、4年生が「ふれあい夢の森」を中心に年間を通して、森林環境ボランティア「みどりのバトンタッチ」にお手伝いいただき、森林環境学習を行った。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 6月2日 間伐事前授業
- 6月12日 間伐体験
- 11月6日 事前打合せ
- 11月20日 木工教室



【 間伐の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

コミュニティ・スクールのめざす「子どもたちの自主性の育成」の一環として、本校の子どもたちが間伐した木材をどのように使うかを考え話し合った。

子どもたちはグループごとに、校内に必要なものを調べ話し合い、橋、案内看板、ベンチ、名札を提案した。制作するために必要な材料と設計図を作り、みどりのバトンタッチさんと一緒に考えた。

■ 事業の成果

- ・間伐から木工教室まで、年間を通して森林環境学習ができた。
- ・子どもたちは自主的に考えて行動し、校内に必要なものを話し合い、調べることができた。
- ・橋を制作するグループは、安全に渡る為に手すりを考案し、みどりのバトンタッチと一緒に考え制作することができた。
- ・各グループが協力して作業をし、遅れているグループのお手伝いをする姿が見られた。
- ・子どもたちが作りたかったものに、取り組むことができたことで、子どもの主体性を伸ばし、「自己肯定感」を向上させることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

作業には危険な道具を使用したりするため、事前に学年の先生やボランティアとの打合せを入念に行う必要がある。

グループごとの制作中に、作業をする子どもに偏りがないように、どんな作業が必要かを考えて子どもに把握させる工夫が必要。



【 手すり付きの橋 】

■ その他

- ・森林環境学習ボランティア「みどりのバトンタッチ」会員数22名。
- ・平成24年度に緑化功労賞「しゃくなげ賞」を受賞。
- ・令和4年度に第72回全国植樹祭「ノースロップ賞」を受賞。
- ・1年生・記念植樹。2年生・野菜の学習。3年生・椎茸の栽培。
- ・4年生・木工教室。5年生・しめなわ作り。6年生・植樹。
- ・その他に裏山整備や学校農園整備等、年間活動回数20回。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

広がるボランティアの輪

湖南省	活動名：三雲東小学校地域学校協働本部	三雲東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：110人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 甲西中学校学区小・中9年間を通して関わる（見守る）地域を目指す。
- ・ 小・中9年間を通して自分で考える力のある子へ育てる。
- ・ 主体性を育む教育について正しい認識を保護者に啓蒙していく。
- ・ 子どもの居場所づくり、学力補充。



【 計測のお手伝い 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

体力テストボランティア

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 担当教員と詳細な打合せを行い、役割分担を計画した。
- ・ 保護者ボランティアの人数が多いスクールガードを中心に声をかけ、参加希望者からのネットワークも使ってボランティア募集をお願いした。
- ・ ボランティアに参加可能な時間を把握し、担当場所、種目、補助内容の分かる一覧表を作成し、教員、ボランティアが共通理解できるようにした。
- ・ ボランティア用の名札を準備した。



【 スムーズな計測ができました 】

■ 事業の成果

学校側からの要望があり、今年度初めて取り組んだ支援である。ボランティアの皆さんには計測補助や記録表への記入のほか、参加人数の多い時間帯にはたてわり班の引率と児童管理をお願いした。各種目にボランティアが1～2名入ることで計測にかかる時間が短縮され、児童の移動もスムーズにできた。

日頃から協力的なボランティア参加者は、児童にも顔なじみが多く、その子にあった配慮のあるサポートをしてくださった。また、教員の負担も軽減し、時間に余裕ももてる活動になったと喜んでもらった。ボランティア参加者からは、子どもたちと一緒に活動ができて楽しかった、自分が少しでも役に立ててよかったと感想をいただいた。次年度も取り組んでいきたい活動となった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ ボランティア自身のネットワークも活用しながら、地域の方だけに頼らず保護者も積極的に参加できる取組を学校と今後一緒に考えていきたい。
- ・ 地域コーディネーターが一人のため後継者を見つけていくことが課題である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

ボランティア活動を「三雲東小学校ボランティア通信」として発行し、周知した。（ホームページにも掲載）

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

子どもをお客さんにしない ～どの子どもも輝ける場を保障する～

湖南省	活動名： 岩根小学校地域学校協働本部 (根っこ応援団)	岩根小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：220人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（まちづくり協議会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容

コロナ禍で制約された活動が続いたが、アフターコロナの今、もう一度原点に戻り、子どもの健全な成長のために地域全体で何ができるかを熟議した。メンバーとして、コミュニティ・スクール理事・まちづくり協議会・民生委員児童委員・PTA本部役員・教職員・各ボランティアグループの代表が集まり、今までの取組の成果や子どもの変容と課題について話し合った。

また、それぞれの立場で今後どのような取組をしていくのかを確認した。「子どもをお客さんにしない」を合い言葉に、主体的に行動できる子どもをみんなで育てていくことを共通理解できた。

■ 地域と学校が協働した活動（めざせ！防災士いわねっこ）

「災害時に地域を守る一員として活動できる防災士になりたい」という子どもたちの願いから、防災ワークショップを実施した。企画は全て児童が行い、ワークショップには、地域の方も巻き込んでいった。当日は、岩根まちづくり協議会や湖南省危機管理・防災課、湖南省中央消防署、地域の防災士にも協力を求め、消火訓練・配給活動・段ボールベッドづくり・防災カルタなど、発達段階に合わせた内容を実施した。

司会進行は子どもたちが行い、専門的な知識は地域の各団体の方が説明するなど互いに連携し実施することでスムーズに活動することができた。



【 配給活動 】

■ 実施に当たっての工夫

子どもたちの思いや活動の趣旨が、学校運営協議会やまちづくり協議会の方に正確に伝わるよう、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員がサポートした。あくまで、子どもが主体的に行動することを意識してサポートすることとした。

■ 事業の成果

子どもたちの思いを受けて、地域の様々な立場の方が集まりワークショップのサポートをしていただいたことは、子どもにとって大きな喜びであり達成感があったようだ。

また、地域の担い手として、自分たちも行動できるという自信にもなり、自尊感情の向上にもつながった。6年生が中心の取組だが、全ての子どもがどこかの場面で活躍でき、生き生きとした表情を見せていた。

本校では、今まで災害による危機が二度あり、その度、地域が支えてくださっている。その地域性を引き継ぐ意味でも、有意義な実践となった。



【 段ボールベッドづくり 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校と地域がつながる活動は実施できているが、関わってくださる方の高齢化が課題である。子育て世代や壮年層の方とのつながりは弱い。若い世代の方のように主旨を理解していただき、働きながらもかかわりができる工夫が必要と感じている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校ホームページ：[コミュニティ・スクールの活動をご覧ください。](#)



■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（校長）

コロナ禍を経て4年ぶりに開催できた 「第12回 あすなろカーニバル」

湖南省	活動名： 菩提寺北小学校地域学校協働本部 (あすなろ応援団活動)	菩提寺北学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：80人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他 [あすなろカーニバル・CS主催の運動会]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 □行政
 その他（あすなろボランティア）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

2023年5月よりコロナが2類から5類に下げられコロナ禍前のような活動が出来るようになり、ぜひ学校・地域・保護者（PTA）が連携して子どもたちの「ふるさとづくり」として11回も毎年開催してきた「あすなろカーニバル」を復活させようと熟議が重ねられた。開催意義・趣旨を再度共通理解したうえで安全に開催するために企画・体制・ボランティア依頼など細部に至るまで話し合いを行った。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・あすなろカーニバル 10月21日 第12回開催
- ・CS主催運動会 5月27日 CS理事たちによる運動会（全学年綱引き大会開催）
- ・図書ボランティア 図書室の季節の飾り・朝の読み聞かせ・お話し
- ・ちくちくボランティア 家庭科学習補助・カーテン補修
- ・見守りボランティア まち探検や郊外学習の引率・見守り
- ・クラブボランティア クラブ活動指導補助
- ・花と緑のボランティア 学校の花や畑のお世話・子どもたちへの指導補助



【あすなろカーニバルの様子】

■ 実施に当たっての工夫

「あすなろカーニバル」では、たくさんの方のボランティアさんを動員するので、安全に当日スムーズに動けるように各理事が各ブースの責任者となり動いた。餅つきや飲食物も配布するので衛生面に特に注意を払い、冷凍クレープを自然解凍するものにして直接手を触れないようにした。

「運動会の綱引き大会」は全学年を色別チームに分けて、総当たりにして全学年が参加し、応援も楽しめるようにした。最後は先生や大人との対戦も行い大盛り上がりでした。

■ 事業の成果

コロナ禍で薄れてきていた、人と人とのつながりを少しずつ取り戻せたように思う。まだまだ、以前のようにすべて戻せたわけではないが、長年かけて培ってきた学校と地域のつながりをまたしっかり手を携えて地域の子どものために進んでいける分岐点の年になったと思う。



【綱引き大会の様子】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

来年度は菩提寺北小学校創立30周年を迎え、令和6年11月に周年事業を開催する予定なのでさらに学校・地域・保護者（PTA）との連携が今年度以上に必要かつ重要になってくると思う。すでに、周年事業のための実行委員会も立ち上がっている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会理事は学校行事において来賓ではなく学校職員と一緒に運営に関わっている

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（教務関係職員）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

『本や文章に親しみをもちつために』 ～ 図書関連ボランティアの活動 ～

湖南省	活動名 : 下田小学校地域学校協働本部	下田小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数：3人（兼務2人） ボランティア登録数：100人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

下田小学校学校運営協議会では、4つの委員会で協議した内容や、学校現場での問題点について熟議を重ねている。
 地域学校協働活動については、ボランティア人材の確保や、ボランティアが児童や教員と関わる場合に必要な情報や活動の目的の共有すべき内容や共有方法等について話し合っている。学校運営協議会理事も地域学校協働活動に積極的にかかわることで、課題の共有ができています。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

下田小学校では、児童の図書室利用が盛んにおこなわれており、その一端を図書関係ボランティアの活動が担っている。
 ・1年生読み聞かせボランティア（毎週金曜日5時間目）：教室での絵本読み聞かせと図書室での本の返却、貸し出しの補助
 ・朝の読み聞かせボランティア（2年～6年 年間3回 木曜日朝学習の時間）：教室での読み聞かせ
 ・暗唱ボランティア（1年～6年 月1回程度）：「ことばの宝箱」という冊子の暗唱・音読の聞き取り

■ 実施に当たっての工夫

・1年生読み聞かせでは、教室での読み聞かせ時に書画カメラと電子黒板を利用して、教室の後ろまで見やすくなるように工夫している。図書室では児童が借りたい本を探すサポートをしている。
 ・朝の読み聞かせは、ボランティア1人で15分間読み聞かせをしている。担当学年はボランティアの読みたい本や都合の良い日程等を基準に相談して決めている。
 ・暗唱ボランティアは、少人数の児童を1人のボランティアが担当し、児童が揃った時に毎回注意点を確認するなど、児童が集中して取り組める環境を作っている。毎回、活動終了後に振り返りを実施し、次回に向けての改善点や気になることをボランティアで共有し、担当教員とも情報共有をしている。



【1年生読み聞かせ】

■ 事業の成果

・1年生の読み聞かせと朝の読み聞かせが継続して実施されていることで、児童に本を読む習慣が身につく、学年が上がっても図書室や公共図書館の利用が継続されている。ボランティア自身も読み聞かせに参加することで、新しい本との出会いがあり、自身の読書習慣にもつながっている。
 ・暗唱ボランティアに頑張ってもらえることが、児童の安心感や自信につながっている。暗唱や音読がうまく言えなかったときも、ボランティアが頑張っていた点をほめてくれることで、もう一度挑戦するための原動力となっている。
 ・図書関係ボランティアでも地域の方とふれあう機会が生まれ、学校や家庭以外の地域でも児童を見守る環境が広がるきっかけとなっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・どの活動でもいえることだが、活動に参加して下さるボランティアが固定化、減少している。特に読み聞かせは、子どもの前で本を読むという活動の特徴上、ハードルが高く感じられなかなか新しい手が見つからない。
 ・暗唱だけに限られたものではないが、やる気がある児童とそうでない児童との差が大きい。やる気が出ない児童にどのように声を掛けるのかがいいかということボランティア間で考えながら活動をしていかなければならない。
 ・1年生読み聞かせと朝の読み聞かせは、ボランティアリーダーが中心となって活動を進めている。その他の活動についても、ボランティア自身が主体的に活動できるような環境を整えていきたいと考えている。児童が主体的に活動に参加するためにも、まずはボランティアが主体的に動くことが大事になってきている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

令和6年3月15日、下田小学校は創立150周年となり、記念式典の企画、運営を学校運営協議会が担っている。150周年記念式典では、運営スタッフとしてボランティアに参加していただく予定となっている。式典をはじめ、様々な場（SNSも含む）で学校運営協議会の活動と、地域学校協働活動についての広報活動を進めている。
 地域の方々に、学校運営協議会や地域学校協働活動について知ってもらう良い機会ととらえて、発信を続けている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（理事、民生委員、下田まちづくり協議会）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

湖南省	活動名：水戸小地域学校協働本部	水戸小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：70人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・水戸っ子応援団の活動
- ・学校づくり委員会とふるさとづくり委員会の活動
- ・保護者や地域への周知方法
- ・地域人材の発掘や資源の活用方法



【 お昼休みお話し 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

1年、交通安全教室 2年、まちたんけん 3年、水戸のヒーローにインタビュー
 4年、さつまいもづくり 5年、田んぼの子学習と環境学習
 6年、敬老会でランチオンマット作成

その他、読み聞かせボランティアによるお昼休みのお話し、外国籍児童交流会
 ボランティア&教職員の交流会、運動会やまちづくりフェスタでの活動掲示、ボランティアカフェ

■ 実施に当たっての工夫

- ①先生とボランティアで授業の目的や子どもの対応を共有すること、
- ②活動をとおして子どもも大人も成長できる取組とすること
- ③地域で子どもが活躍できる場の調整

■ 事業の成果

4年ぶりにボランティア&教職員の交流会やボランティアカフェを開催でき、地域の方から「元気で素直」「明るくてフレンドリー」という水戸っ子のよさを教えていただいた。地域の中でどんなことができるか、どんなことをしたいかを話し合い、CSについてもこれまでの学校から言われたお手伝いをするボランティアではなく、共に子どもを育てるチームとして地域やボランティアの存在が必要だと意識できる会だった。子どもたちは学年ごとに地域と関わる学びがあり、学年があがるにつれ地域の一員として自覚。また地域の方や保護者と共に活動していると意欲的に学ぼうとする姿が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

長年経験しているボランティアは水戸小の目指す「自ら学び自ら育つ」子どもの姿を知り、関わってくださるので子どもたちののびのび活動できている。
 コロナで縮小した活動を楽しみにしていた地域の方も多いので今後どう取り組んでいくのか地域や保護者と話す場を定期的につくっていくことや、今年度同様工夫しながらすすめていこうと思う。



【 教職員&ボランティア交流会 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

理事会では学期ごとに子どもたちとボランティアの活動をふりかえっている。
 学校で行っているアンケートの結果について子どもと保護者の状況を把握して活動に活かせるよう努めている。CSでは運動会や行事でスタッフとしての活動や地域にPRする方法を熟議している。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

学校に地域の力を、地域に生徒の活力を！

湖南省市	活動名：石部中学校地域学校協働本部	石部中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：94人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他〔入学試験面接指導等〕			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・令和6年度創立50周年に向けて実行委員会を立ち上げ、実行委員会と連携した取り組み。
- ・コロナ禍あけの学校行事や学校運営、学校や地域での生徒の様子について情報交換と共有。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・1年生、3年生国語科書写の授業において、作品出展のための授業に地域の方に来ていただき、支援いただいた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・日ごろ地域で、子どもから大人の方までに書道を教えておられる方々に支援を依頼した。事前にコーディネーターがボランティアの方たちの日程調整を行い、担当教師との打ち合わせ会を設けた。漢字とひらがなのバランスや名前を書く場所等配置を教えていただいたり、お手本を書いていただいたりして、丁寧にわかりやすく教えていただいた。



【 書写支援 】

■ 事業の成果

- ・教えていただいたことを意識すると、とてもきれいに書けて嬉しかったです。
- ・例えを用いて、字の表現の仕方を教えてくださったおかげで、バランス良くきれいに上げることができました。（生徒感想）
- ・アドバイスをいただいて上達を喜ぶ生徒や、示してくださったお手本に感嘆の声をあげる生徒を見ていて、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。生徒たちが例年以上に懸命に取り組むことができました。（国語科担当者感想）
- ・来ていただいたボランティアのみなさんも、生徒たちの一生懸命な取り組みを見て大変楽しかったと喜んでいただいた。



【 書写支援 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今回は、作品を仕上げるためだけの授業になってしまったので、今後可能なら時間数を増やし、基本的なことから教えていただけると良いと感じる。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

<https://ishibe-jh.konan.andteacher.jp/>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

Chance (チャンス)・Challenge (チャレンジ)・Change (チェンジ) ～地域とともに進める生徒の自主的な活動の場づくり～

湖南省	活動名 : 甲西中地域学校協働本部	甲西中学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：3 人（兼務 3 人） ボランティア登録数：40 人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

- 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
 - ・ 地域学校協働活動の内容を地域の方々にもっと知ってもらうためのPRの方法 → 学校評価の項目に入れる。また、PR用広報紙を発行する。
 - ・ 授業参観、行事参観をし、小中学生の活動を知り、できることを考える。
 - ・ 地域の行事で小中学生が活躍できる場を作り、自分たちで主体的に動かす経験をさせることを計画。



【ふるさと再発見 取材中】

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 - ・ 図書室整備 …… 図書室の環境整備と本の帯コンテストの制作補助
 - ・ 書写の授業支援 …… お手本準備や個別指導。全学年対象で書写講師3名
 - ・ ミシンの授業支援 …… 1月から1年生の家庭科支援。5名で活動
 - ・ スモールティーチャー …… 小学生の夏休みの勉強会を中学生が支援する活動（異年齢交流）
 - ・ 読み語り …… 朝読書の10分間で読み語りを行う。1、2年生が対象6名で活動
 - ・ 文化体験講座 …… 地域の方々を講師として招いて14の講座を1年生の親子活動として実施
 - ・ ふるさと再発見 …… ふるさと湖南省の魅力を再発見するフィールドワーク。地域の方に協力してもらい行った。
 - ・ キャリア教育の講演 …… キャリア教育の一環として、「働くこととは」「学習の仕方」などの講演。1学期に1、3年生、2、3学期に2年生対象に行った。
 - ・ ボランティアまつり …… 社会福祉協議会のイベントに生徒が模擬店の企画と出店し即完売（チュロス・ドリンク）
 - ・ ふれあい給食 …… ボランティアセンターからの依頼で一人暮らし高齢者に配布するお弁当掛け紙を生徒がデザイン
 - ・ クリスマスパーティー …… 中学生が主体となって進める地域のイベントを…というこで、CSやまち協が関わり、小学生や未就学児を招待し、パーティーを開催。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 授業がスムーズに進むよう担当教師やボランティア講師と随時連絡を取り合った（ミシンの点検・書写の準備、後片付け等も行った）
- ・ ボランティアスタッフには当日の予定（クラス、場所など）分かるよう玄関に案内板を設置した

■ 事業の成果

- ・ ボランティアまつりでは生徒が自主的に企画段階から参加して当日は楽しく地域の方とも交流できた。
- ・ 読み語りと家庭科の授業支援は小中連携することで9年間にわたる支援となっている。
- ・ 夏の「お化け大会」が地域に根づく行事となっていることから、中学生が主体となって考える「クリスマスパーティー」をすることに。自主的に実行委員として参加し、企画、運営をする頼もしい姿が見られた。



【大盛況のクリスマスパーティー】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・ 学校運営協議会との協働により実施した「クリスマスパーティー」は盛況で、本人たちも満足していたが、「自分たちが進めていく」意識がまだまだ薄い。学校行事については、「生徒に任せて自主的な活動にする」ことが増えてきたが、総合的な学習の時間などにおいては、大人がお膳立てをして行っている活動がほとんどである。今後は、自分たちが問題意識を持ち、探求していく、自分たちが地域に関わる・変えていく、それを楽しむという活動を目指していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（教科担当、該当学年教員）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員、教頭）

つくろう！ 育もう！ 子ども・学校・ふるさと の未来

湖南省	活動名： 甲西北中学校地域学校協働本部	甲西北中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成31年度 地域学校協働活動推進員等数：4人（兼務4人） ボランティア登録数：10人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・授業や行事への地域の方の協力の方策（学校はどのようなことを協力してほしいと思っているのか聞かせてほしい）
- ・来年度の「防災フェスタ」開催のあり方について
- ・不登校生徒への支援について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・朝の読書の時間に「本読み隊」として生徒に本の読み聞かせを行った。
- ・校区内の2つの地域まちづくり協議会や社会福祉協議会等の呼びかけに応じ、地域行事に参加。吹奏楽部が演奏したり、遊びのブースや食べ物の販売ブースを担当したりした。家庭部が手作りワッフルを販売しすぐに完売するほどの人気だった。
- ・5月には市で開催されたトレイルランに応援隊で参加。
- ・8月には昨年度より開催している「防災フェスタ」を開催。防災についてボランティア部の生徒が学んだことを展示したり、模型で見せたりした。市の危機管理・防災課や防災士連絡会、また地元自治区や防災アドバイザーの方々と協働した。
- ・2年生の職場体験先の事業所の新規開拓をした。
- ・湖南省少年センターの啓発物品のティッシュに入れるイラストを生徒が描いた。
- ・1年生のフィールドワークに市内の事業所や地域の方の協力を仰ぎ、24コース作ることができた。



【 みたらしだんごのブース 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・コロナ禍が明けて活動が再開されてきているが、学校の負担が増えないような活動を心がけている。
- ・活動を進める上で、その都度、生徒の意見や思いを尊重し、ひとりひとりの持ち味が生かせるような配慮と、次につながっていく活動となるよう心がけている。

■ 事業の成果

- ・ボランティア部の生徒を中心に地域行事への参加が増えたことで、今では地域の方が楽しみにして下さるまでに変わり依頼も増えている。ボランティア部員だけでなく全校生徒に呼びかけることで、地域行事に参加する生徒が増えた。
- ・生徒主体の「防災フェスタ」を行うことで、関わった生徒たちの防災に対する意識が深まった。



【 防災フェスタ かまどベンチ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校から地域への活動は、地域にも浸透し生徒の活躍の場は増えつつあり、学校が一步踏み出し、それを地域の大人が後押しするというように、学校と地域の連携が進んでいる。しかし、まだ生徒も教員も一部の人材に頼っているの、さらに広げ、活動を持続可能にするための組織づくり、仕組みづくりを進めていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・地域コーディネーターが学校運営協議会のメンバーとなり、報告・熟議をすることで、さらに活動が認知され広がっていている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

